

令和4年9月13日

各 位

会社名 株式会社アイビー化粧品
代表者名 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 経営管理部長
役職・氏名 中山 聖仁
電 話 03-6880-1201

DENBA 株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、本日、DENBA 株式会社（本社；東京都千代田区神田錦町 3-15-6 名鉄不動産竹橋ビル 代表取締役 後藤錦隆、以下「DENBA」）との間で、業務提携を行うことを取締役会決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的及び理由

当社は、化粧品及び医薬部外品の開発について、研究開発体制および生産体制を整備しており、特許を複数所有し、その請求項の範囲は化粧品だけにとどまりません。また、工場の生産能力は、現在の売上高の数倍の生産が可能な能力を有しております。

一方、近年における売上低迷により、企業価値は著しく低く評価されております。このような状況を打破するために、当社が持っている経営資源を最大化することを目的としております。

相手先である DENBA は、鮮度保持、高品質冷凍、鮮度維持解凍、熟成、様々な使用用途のある電場を作り出す機器の製造販売を行っていますが、商社機能も持っており、日本から中国等に輸出できる製品の探索も行っていました。そのため、上記記載の当社の目的と合致するため、業務提携を行うことと致しました。

具体的には、DENBA の持っている中華人民共和国（香港を含む）および台湾でのネットワークを生かし、日本国内以外での「育毛剤」の販売展開を行ってまいります。

(下記関連する開示書類をご参照下さい。)

開示年月日	表題
令和4年3月25日	『薬用スカルプケア ステムシグナル』 新発売のお知らせ
令和4年2月22日	JAK 阻害剤の特許査定に関するお知らせ
令和4年2月16日	第三者割当による第3回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第4回新株予約権（行使価額修正型新株予約権転換権付）の発行に関するお知らせ
令和4年1月24日	JAK 阻害剤の特許査定に関するお知らせ
令和3年11月4日	頭皮外用剤の特許査定に関するお知らせ

2. 本業務提携の内容

当社が開発、製造している育毛剤『薬用スカルプケア システムシグナル』については、令和4年6月に発売を行ないました。その優れた効用により、国内市場だけでなく、グローバルに展開が出来るものだと考えております。

そういった中で、DENBA より業務提携に関する申し入れを受けました。DENBA は、中国等とのつながりが深く、中国等におけるビジネスを進めるには、当社が直接行うよりDENBA に委ねた方がいいと判断致しました。

また、DENBA は、国内大手商社からの出資も受け、その幅広いネットワークにアクセスすることも可能で、商社機能を持っています。そのため、上記育毛剤技術を応用した製品の中華人民共和国（香港を含む）および台湾での、マーケティングおよび販売を、DENBA に委ねることにより、そのネットワークを使い、多くの小売販売店への拡販を図ることが可能です。

現在当社は国内訪問販売事業だけ行っておりますが、「中国における薄毛人口は2億5千万人いる」¹⁾と言われております。当社が令和4年6月に販売した育毛剤は大変好評であり、国内訪問販売市場だけでなく、中国等においても大きなニーズがあると考えております。日本国内以外の中国等のマーケットで新たに約10万人の顧客を獲得することにより、令和10年度までに年間約100万本（約2,000百万円規模の売上高※）出荷となるビジネス創出を目指します。

現時点では、具体的な取り組みについて検討中ですので、今後進展あり次第、適宜開示してまいります。

1) “中国の薄毛人口は2.5億人 若者の33%に悩み、植毛トラブルも”

<https://news.yahoo.co.jp/articles/952b2a0619e26872828c17c9909bb424f63a3770>
2022.3/30 (c)東方新報/AFPBB News , yahoo news 配信

(※) 当社の将来の売上高の見込みについては、あくまで現時点での将来の目標値であり、今後、年度ごとに開示する業績予想に含めて開示してまいります。なお、輸出条件については、EX-WORKS（国内渡し）の予定で、中国等におけるビジネスはDENBA が行ないますので、当社が背負うカントリーリスクは限定される見込みです。

3. 本業務提携先の内容

(1) 名称	DENBA 株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区神田錦町 3-15-6 名鉄不動産竹橋ビル
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 後藤錦隆
(4) 事業内容	DENBA+製造・販売、

	DENBA Shop 店舗運営など	
(5) 資本金	140,250 千円	
(6) 設立年月日	平成 16 年 4 月	
(7) 大株主及び持株比率	DENBA ホールディングス株式会社	61.5%
	後藤錦隆	37.5%
	伊藤忠商事株式会社	1.0%
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者	該当事項はありません。

(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態

	令和 2 年 1 月期	令和 3 年 1 月期	令和 4 年 1 月期
純資産 (百万円)	211	165	175
総資産 (百万円)	869	734	692
1 株当たり純資産 (円)	247,162	191,863	215,655
売上高 (百万円)	978	658	283
営業利益 (百万円)	134	162	12
経常利益 (百万円)	134	150	15
当期純利益 (百万円)	94	102	9
1 株当たり当期純利益 (円)	111,043	118,487	11,993
1 株当たり配当金 (円)	-	-	-

4. 日程

- | | |
|-------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 令和 4 年 9 月 13 日 |
| (2) 契約締結予定日 | 令和 4 年 10 月以降 |
| (3) 業務開始予定日 | 令和 5 年 4 月以降 |

5. 今後の見通し

本提携は、目標どおりに計画が推移した場合には、令和 10 年度までに年間売上高で約 2,000 百万円の上乗せ（ご参考；令和 4 年 3 月期売上高 3,534 百万円）、営業利益で約 1,400 百万円の上乗せ（ご参考；令和 4 年 3 月期営業利益 83 百万円）となる可能性があり、来期以降当社業績に与えるインパクトが大きいと考えております。

なお、準備期間を鑑み、事業化は来期以降となるため（中国等における法規制等については、詳細調査が必要なため、業務開始予定が想定より遅れる可能性もあります。）、令和 5 年 3

月期の業績への影響は軽微となる見通しです。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせ致します。

以 上